

第 15 回新潟県二級河川流域懇談会 意見交換会議事要旨

1 三面川水系河川整備基本方針修正案に関する意見・質問・感想

河川環境に関する意見・質問・感想

委員意見・質問・感想	事務局の回答
<p>保護水面について「鮭の遡上する三面川の玄関口」として河畔林を守るといことと、保護水面の水質・環境保全についても努めていくといことで表現できないものかと感じている。難しいのであれば、環境面で整備計画を進めるに当たり、保護水面と繋がりをもっているということを検討してほしい。</p>	<p>事務局として、基本方針には流水の正常な機能の維持や、良好な動植物の生息、生育環境の保全及び流水の清潔の保持など、かなり具体的に記載している。</p>
<p>保護水面（種川など）について様々な問題を提起しているが、全く保護水面のことを議論しなかったのではないかとことを後になって言われぬように、きちんと保護水面と繋がっていくような記載をお願いしたい。</p>	<p>公表している会であり、後にも議事録は残っていく。今後、河川整備計画を進める際には、再度地域の皆様と相談しながら行っていく。特に種川の件については、しっかりと地域と連携して検討していきたい。</p>
<p>環境の保全に努めますという言葉が多い。努めまらずと言わず、より積極的な表現があってもよいところもあるのではないかと思う。</p>	<p>自然相手なので、保全を考えていろいろと実施はしていくが、実際にそのとおりにならないこともあることから、努めまらずという表現にしている。</p>
<p>平成 9 年の河川法改正に当たって、環境という面が大きく位置付けられたが、それを今回どのように活かそうというのかが見えてこなかった。 平成 9 年の河川法改正で、環境の項目が新たに加わったのが、大きな変更点と思っている。</p>	<p>河川法の改正により、河川環境の整備と保全の項目が新たに加わったと理解して頂いてよい。</p>
<p>現在の堤外地（河川敷）の状況を保全することが、河川の本来の姿を考えたときに、本当にそれだけでよいのかということを考えていかねばならない。例えば、本来の河川環境に近いものに再生していくような文章が一部でもあるとよいと感じた。</p>	<p>本来の河川環境については、非常に難しい問題なので、先生方の議論も踏まえて引き続き検討をしていく必要があると認識している。</p>
<p>「ハマナスなどの絶滅危惧種やミクリなどの抽水植物群落」という文章では、ミクリが絶滅危惧種でないように感じられる。文章を修正したほうがよい。</p>	
<p>動植物をレッドリストで区分けしたのはよいが、野生絶滅した種も混じっている。整理したほうがよい。</p>	

委員意見・質問・感想	事務局の回答
<p>春先の出水がコントロールされてヤナギ類が河川に定着しやすくなっているということは十分考えられる。例えば春にある程度、定着するような状況にならないような水の流し方が出来るのであれば、本来は定着しないような樹木等を管理する必要も少なくなるのではないかと。流量の季節的な変化を検討するとよいと思う。</p> <p>-----</p> <p>本来の河川環境はどうあるべきか。高水敷に生えている植物なども頻繁に水に浸かることがあれば、違ってくる。春先のダムからの放流の仕方は、そこまで考えていないが、これからの時代はそこまで求められている時代なのではないか。本来の河川環境を目指すためには、ダムに洪水調節と発電などで貯め込むだけでなく、どのように流すのかということも考えていかねばならない。</p> <p>-----</p> <p>本来の河川環境を目指したいが、難しいというような文言を入れることについて検討してほしい。</p>	<p>本来の河川環境について記載できるかどうかや記載方法も含めて、検討させて頂きたい。</p>
<p>河川の災害対策、その整備は毎年行われる巡視点検を経て、当局は精一杯整備を実施している。</p> <p>長年の河川整備は、地域住民の生命・身体・財産を守るという観点で行ってきていることから、さらにこれ以上整備が必要という意見はない。また、地域の環境を守ることが、ひいてはその地域の住民の健康・生命を守るということにも大きく関係してくる訳である。なお、記述等について特に申し上げることはない。</p>	
<p>動植物をレッドリストで整理しているが、三面川流域に完全に自生していないものもあるので、調べて削除してもらいたい。</p>	

委員意見・質問・感想	事務局の回答
<p>河川法が改正され自然環境、あるいは河川に生息する生物の保全というようなことがうたわれて数年も経つ訳だが、具体的に希少な植物・生物を保全したという活動・実績が見えてこない。法律さえ変えれば守られるのかという決してそうではなく、どうやって守るかという話をもう少し詰めてもらいたい。</p>	<p>現実的に河川を管理する立場から、第一に洪水、人命を守る、それから水利用、さらに環境という事で考えると、現状としてなかなか思うように動けないという所はご理解頂きたい。今日頂いた意見というのは、普段頂けない意見であり、貴重なご意見だという認識は十分持っており、今後の整備計画の課題としてどのように反映できるか今後検討させて頂きたい。</p>
<p>出水など局地的な豪雨などにより、土や砂利が流されたというような攪乱があって、新しい土壌が出来ることで、そこにまた種が芽を出すという繰り返しを行っている植物が多くある。川は今まで川自身で攪乱を起こしていたが、最近では少なくなってしまったので、人為的な攪乱も保全には必要である。</p>	
<p>ただ保全するというだけではなく、一旦その環境を壊してやるという保全の仕方も含まれてくるので、生き物の特性に合わせて対応して、どのようにして保全していくという趣旨の文言をどこかに記述して欲しい。なんでも保全する、ほったらかして自然に任せておけば保全できるのかといえ、そうではないという表現方法を考えて記載して頂きたい。</p>	
<p>最近ようやく故意に攪乱を起こすべく小洪水を発生させて、本来の河川環境がどうあるのかという研究が始まってきているが、まだ技術基準的に示せる段階ではない状況の中で、基本方針への記述は難しいという気もする。攪乱を与えることが保全に繋がるという考え方が、一般にはまだほとんど浸透していないと思う。</p>	
<p>攪乱を起こすことが河川の本来の姿だという考え方は、一般には浸透していないが、実は研究面では国際的にはほとんど常識である。澁筋が変わる程度の攪乱を許容するやり方が、本来の川の保全だと思う。低水護岸を造り、川を動かないようにすることは、実は保全ではなく河川環境にとっては破壊であるともいえる。</p>	
<p>バックウォーター（ワンド）が高水敷内にあることがとても重要で、止水域みたいなものも河川内にあって、そこで絶滅危惧種が生き延びている。攪乱がないと生きていけないような植物や、バックウォーターのような環境が同時に存在することが必要で、川は本来いろいろな環境があるはず。そういったことを工夫して記載してほしい。</p>	
<p>このような会で、川を本当にどう考えるかという根本の議論が出てきたということが重要なことだと思う。それを踏まえて、少しでも反映できるのであれば反映して欲しい。特に、どれくらい時間をかけてやると最も河川環境を保全しながら整備できるのかをよく考えて整備計画に反映させてほしい。</p>	

地球温暖化による影響に関する意見・質問・感想

委員意見・質問・感想	事務局の回答
<p>来年度以降の河川整備については、地球温暖化に対する配慮も求められてくると聞いている。温暖化に対する河川整備で出来ることについても盛り込んでおいてもよいのではないかと思う。</p> <p>地球温暖化により、この地域でも雨が20%位増える可能性は出ている。計画雨量も100年確率が50~60年ほどになるとの話もある。整備方針で盛り込めるかということ、まだ難しいとも思っている。</p>	<p>川の整備でどう対応するかということについては、なかなか決められない部分がある。今、流域内で出来るだけ流出させないように調整池を設けるなど、大きな対策をやっているところもあるが、水位情報などのネットを介した情報提供などの連絡システムを強化するなど、今年度も含めて対応しているという状況ではある。</p> <p>国においても急激な増水についての検討会を開催していると聞いているので、国の動向を見ながら考えていきたい。</p>
<p>温暖化で雪が減って春先の水が足りなくなり、農業に影響が出る。ここ20年雪がかなり少ないので、利水面では考えねばならないことだと思っている。基本方針や整備計画など、どの段階で入れるかは難しいが、研究して、検討をしていた方がよいのではないかと思う。</p>	
<p>どれだけの流域面積の川だったら、もっと温暖化を考えなければならないとか、ゲリラ豪雨であれば比較的雨の降る範囲が狭く三面川や天王川でどう考えたらいいのか、意見を聞きたい。</p> <p>ゲリラ豪雨で実際に騒がれたのは、都市部での被害が出ているから問題であって、金沢の浅野川など、より精度の高いモニタリングをしようとしている。ただ、ゲリラ豪雨が増えたのもそうだが、気象の専門家によると、2070年には年降水量が20%くらい増えるといわれている。そのため、100年確率のものが50年60年ということになってしまう。</p> <p>また、ゲリラ豪雨で集中して降ると、流域の狭いところで影響が出るが、流域が大きくなるとあまり影響がなくなる。何が起るかわからないということが正直なところで、備えはある程度考えておいた方がよい。</p>	<p>実際の問題として、今年はゲリラ豪雨が各地であり、県もいろいろな課題を突きつけられている。まずはソフト対策、管理が重要であると考えている。基本的には方針に馴染みにくい課題だと思っているが、整備計画レベルになれば、そういう観点というのは必ず必要になると思っており、今回頂いたご意見を参考に、今後活かしたい。</p>

河口閉塞に関する意見・質問・感想

委員意見・質問・感想	事務局の回答
<p>河口閉塞について対応するといっているが、河口閉塞によりJRの橋梁で流下能力を小さくするなどの影響が及んでいるのかについて、検討をされたら教えて欲しい。</p>	<p>河口の閉塞についてはチェックをしている段階である。ご指摘のとおり、現状の河口砂州の状態では計画高水を流したときに、上流で水位が上がると予想されており、整備計画の中で対応していきたいと考えている。</p>

## 河川パトロールに関する意見・質問・感想

委員意見・質問・感想	事務局の回答
<p>普段の河川のパトロールはどのように行っているのか。</p> <p>きちんと管理できているのか疑問なほど草が生えているところがある。そういう予算をもっと回してもよいと思う。</p>	<p>県内では1級2級河川を合わせて1000以上あり、それらの河川を押し並べて管理・巡視するのは、なかなか難しいのが実態である。その中で人家に近いものであるとか、万が一何かあったら影響が大きい箇所を重点的に巡視している。昨今、ゲリラ豪雨など雨の降り方が変わってきており、特に河川巡視が重要な課題になってきている。それらを考えた上で、実際にどのように巡視をしていくかということを検討している。重要な区間については月に1回程度、次いで必要な区間は年1回を目標に行っている。</p>

### 2 三面川水系河川整備基本方針策定の今後の手続きについて

これまでの意見を踏まえて三面川水系河川整備基本方針(案)を修正し、大熊会長が確認を行うことについて、全員一致で承認された。

### 3 天王川水系の流域概要に関する意見・質問・感想

#### 天王川整備とトキに関する意見・質問・感想

委員意見・質問・感想	事務局の回答
<p>何度も天王川を見ているが、あの川幅、あの河道の中にトキが下りて、エサをとることが可能なのか。</p>	<p>現実的には、川幅が狭いので直接川に下りることは出来ないが、川の周辺や連続性などの中で考えていく。</p>
<p>トキを対象にしているので、トキが川をさかのぼってきた魚や水生昆虫などをエサとしてトキに採取されなければならない。エサが川を行ったり来たりして川から外へ出ないのであれば、いくらエサが豊富でも、川のなかにトキが入ってエサが取れないということになる。もっと広いところにエサが行くように、魚などが行き交うような方法をとらねばならない。</p> <p>縦断方向よりも横断方向に改善をすることを基礎とすべきで、農業の給排水施設を改良して改善していくことが重要な課題になってくるが、河川管理者だけの一存で出来る話ではない。調整の方法など、これからの事業の進め方について教えて欲しい。</p>	<p>基本的には縦断方向の解消としているが、横断方向についても念頭に入れてやっていく考えである。例えば、農業排水路との接続部分など、トータルで考えていくということになる。ワーキンググループや委員会には県の農地サイドも参画をしており、河川管理者だけではなく他の機関とも連携して取り組まれているという現状である。</p>
<p>最近、排水路と田圃との間の魚道が出来ているが、そういったことも検討されているのか。</p>	<p>次回までにそういった事がわかるように資料を整理させていただきたい。</p>
<p>川だけでなく、川と田圃との繋がり、そして田圃の排水路と田圃の中など、いかに流域の中の生物多様性を増やしていくかを考えて整備をしている。最初に行ったときは生物が上れないところばかりだったが、今は少し解消している。生物量の調査をしており、それによるとだいぶ増えているようだ。定量的に調べるのは非常に難しいが、そのなかで生態系や鳥類の専門の方々などで総合的な検討をしている。安全を確保しつつ、どのように環境と両立していくかが難しいところである。</p>	
<p>川は川だけ、田圃は田圃だけで他は知らないという委員会になると、河川管理者が出来ることは縦断勾配の改善だけになってしまう。関係者がトキを呼び戻すために、川を中心とした環境の改善について、具体的な提案をして具体的に詰めていけるように提言をしていきたい。</p>	
<p>最近、行政の横の繋がりも良くなってきている。川の横方向の繋がりには非常に重要な問題で、魚道での移動や、ピオトープなどに産卵が上がってくる。</p> <p>また、どの季節に魚が上がってくるのかが重要で、上がる時期の水の流し方や、ネットワークの保ち方が技術的な問題となる。天王川は小さい川なので、実験的に行うのは難しくないと思う。県の河川行政の立場としてもアピールしやすい事業が出来ると思う。</p>	

#### 観測体制に関する意見・質問・感想

委員意見・質問・感想	事務局の回答
<p>天王川には観測施設がなかったように思う。こういった川でどのように方針を立てるのか、県で何か考えがあるのか。</p>	<p>現在検討中である。</p>
<p>水位データ流量データが全く無い状態では検討が難しいと思う。観測することにより、短いデータでも何回か洪水が出てきて、それである程度の流域の特性などがわかると思う。データがないなりに、やるしかないと思う。</p>	